

11.15

市議の選択

一人ひとりに寄り添い 願い実現に全力

高市政権が膨大な予算をつぎ込んで進める「大軍拡」。その一方、暮らしを支える年金や介護・医療、障害者福祉など社会保障のサービスがどんどん低下し、負担が増やされています。舞鶴市政も国や府の言いなりに切り捨てています。

「大軍拡」と暮らし・平和は共存できない——市議会で、こうはっきり言う議員は共産党の議員だけです。

みなさまのご支援で6期24年、頑張ることができました。これ以上、暮らしと平和を後退させるわけにはいかない。この思いで引き続き頑張ります。

みなさまの大きなご支援をよろしく
お願いします。

日本共産党

市会議員 6期

こすぎ悦子

小林えつ子

略歴●舞鶴で生まれ育ち、京都文教（旧家政）短期大学を卒業後、まいづる共同作業所に勤務（現・まいづる作業所）。農業振興や医療・介護など社会保障の充実へ奮闘。障がい者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくりの先頭に。

【生活相談担当地域】 加佐全域、福井、青井、吉原、余内、明倫、引土

トマホーク配備反対！ 舞鶴を最前線基地にさせない
自衛隊員の命も、市民の命も全力で守ります



5.31ピースアクションin舞鶴

トマホークミサイルの配備、弾薬庫の増設、総監部の地下化……。舞鶴の海上自衛隊基地が、外国を攻撃する最前線基地にされようとしています。しかも、高市首相は日本を「戦争する国」に変える改憲まで宣言しています。

障害者福祉にたずさわった者として、絶対に認めるわけにはいきません。障害のある方々が、戦前戦中にどんな扱いを受けたのでしょうか。「穀潰し」とか「非国民」と言われ、真先に差別され、冷遇されました。「戦争する国」づくりをやめさせ、舞鶴を平和の港にするために全力をあげます。



舞鶴になくても
ならない

福祉議員

6期24年
人の痛み
わがことに

短大を卒業し、まいづる作業所の職員に。23年間、障害がある仲間とともに働くなか、「誰もが生きていて良かったと思える社会、安心して住み続けられる舞鶴をつくりたい」と市会議員の道を決意しました。

これを原点に6期24年、どんなに困難な問題も「なんとかしなきゃ」と市民に寄り添い、粘り強くとりくんで数かず実現。市政を動かしてきました。

議会ごとにいのちの願い とりあげて

15年前に重度の障害がある方が通う施設やグループホームで暮らしていくため、看護師を配置することができました。

●舞鶴市障害者計画（2024年）には、こうしたことを土台に「医療的ケアが必要な人が、身近な地域で安心して生活できるよう・・・体制整備について検討」を明記させることができました。さらに実現へ頑張ります

●西舞鶴に人工透析センター開設（2020年）
24年前、患者さんから「人工透析をしているが治療が苦しく、西地域にも人工透析センターをつくってほしい」という1通の手紙をもらいました。この手紙をうけて地域の方々と署名活動も展開し、2020年に18年かかって、西舞鶴地域に人工透析センターを実現できました。患者さんを送迎する無料の車も配車できました

農業の振興、福祉充実で くらしと地域を守る

昨年、農家が農協と契約した加工米が、高温障害で契約量に足りないとき、不足分を“コシヒカリ”で補うペナルティを国会議員と連携して撤回させました。

国や府の支援をうけることができない小規模農家にも、条件付きですが農機具の購入や修理などに市の独自支援を実現しました。

介護事業所・職員さん支援制度

昨年はじめ、国の福祉切り捨てで、訪問介護から撤退する事業所が相次ぎました。こうした施設を訪問・聞き取りをおこない、議会のために支援策を求めてきました。介護施設の人材確保への奨励金支給など「福祉人材未来プロジェクト事業」をスタートさせることができました。

日本共産党3議員で、

みなさんと市政を動かし

くらしも平和も
守ります

●物価高騰、物不足から、暮らし生業を守ります

- ・消費税を全ての品目で一律5%に引き下げ、インボイスの廃止、最低賃金の引き上げ。中小事業者への直接支援の充実
- ・国保料の値上げストップ、均等割りの廃止をもとめます
- ・農産物の価格保障と所得補償で、持続可能な農業を。備蓄米の買い戻しで、米の下落をストップし、消費者価格を下げるため政府が補填を

●高齢者の補聴器購入への補助金制度の創設 タクシーチケットなど外出支援制度の充実

●公的4病院の統合問題

医師確保、診療科の充実はどうしても必要
安心できる医療体制の確立を

はっきりものを言い
しっかり働く



●体育館のエアコン設置計画を 前倒しで、災害に強いまちづ くりを進めます

●温かい中学校給食の実現を

●自衛隊基地の強化に反対し、 市民の命、暮らし最優先のま ちづくりへ

舞鶴民報

2026年秋号外
発行：日本共産党舞鶴地区委員会 ☎65-4050
日本共産党舞鶴地区委員会が、上記の政策と見解を
発表しましたので紹介します。



日本共産党